

NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは 主催

2015 年秋の 講演会のご案内

トークを磨こう

～お客様の心をつかむために～

当法人も設立から満4年が過ぎ、これまでに学校やホテルの他、さまざまな場所で活動を行ってきました。その中で、お客様のみならず演奏者自身からもよく耳にするのが、いわゆるMCの重要さ、難しさです。「演奏は素晴らしかったけれど、あの曲はどういう曲だったのかしら？」と首をかしげるお客様。ときには「曲の説明が堅苦しかった」という感想も。あるいは、言葉づかいそのものに疑問をもたれるお客様もいらっしゃいます。また、演奏者側も、「MCって何を言えばいいですか?」「覚えなければダメですか?」と不安を持っている方も少なくありません。

先日新聞にも、「クラシック演奏会で近頃MC、すなわちトークが重要視されるようになっていく。いまや音楽家にとって、話術は必須の『武器』とも言えそうだ。」という記事が載っていました。

そこで今回は、ご自身もヴァイオリニストとして活動されながら楽しいコンサートトークに定評のある吉岡邑玲さんをお招きして、ワンランク上のMCができるようにご指導いただこうと思えます。下記の要領で参加者を募集いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

また、講演会に先立ちまして、午前11時からと午後14時からの2回に渡り、同会場でもオーパスゆずりはライブもおこなっておりますので、あわせてご来場いただけましたら幸いです。

日 時 : 2015年11月14日(土) 15:00～16:30

場 所 : 新響楽器オーパス西宮北口店2階

参加費用 : 一般 500円 学生 無料 (ゆずりは会員でなくても参加可)

申込方法 : メールにて下記に必要事項をお知らせください。

- ・参加者のご氏名
- ・代表者のご連絡先電話番号

atsuko.music0404@gmail.com

申込締切 : 2015年10月30日(金)

ただし、申込多数の場合は先着順で締め切らせていただきます。

吉岡 邑玲氏 プロフィール

大阪大学文学部美学科音楽学卒業。4歳よりヴァイオリンを始めヴァイオリンを塩田濱子氏、北尾俊平氏に、室内楽を水田耕三氏に師事。ミラノ・スカラ座、ベルリン・フィルホルン奏者のアレッシオ・アレグリーニのマスタークラスを受講。

府立北野高校時代にオーケストラ活動をして以来、オーケストラや合奏団でコンサートマスターを歴任。ソロやアンサンブル奏者として、又ヴァイオリンや弦楽合奏、オーケストラの指導者として幅広く活動中。弦楽アンサンブル・アルモニ主宰。箕面市音楽協会副会長。一方、アナウンサーとしてFM802、OBC等でのニュース、天気予報、ナレーション、CMを始め、大阪交響楽団等プロオーケストラのクラシックコンサートの司会から記念式典、スポーツイベントまで多方面で活動している。

